

番号	1
項目	<p>校内の空き教室の確保・特別教室等を活用した活動スペースの拡充</p> <p>現在の教室 1 室では児童数に対し環境が不十分であり、複数教室の活用、あるいは仮設校舎の設置など、柔軟な対応を直ちにご検討いただきたい</p>
<p>(回答)</p> <p>児童いきいき放課後事業では、令和 6・7 年度の 2 か年にわたり事業の再構築を進めており、その一つとして活動室の狭隘化対策に取り組み、職員配置基準の見直しによる児童の見守り体制の確保に加え、「特に狭隘化が深刻な活動室」については新たな活動場所の確保を行っています。</p> <p>鯉江東小学校のいきいき活動場所については、学校と協議を行い、活動室とは別に家庭科室を確保するとともに、図書室についても学校の運営上支障のない範囲で使用させていただいており、複数教室での活動となるよう努めています。</p>	
担当	<p>こども青少年局 企画部 青少年課（放課後事業グループ）</p> <p>電話：06-6684-9573</p>

番号	2
項目	<p>特別教室・体育館への空調設備の早急な整備</p> <p>プール改修の影響で雨天時に運動場が使用できない中、利用頻度が高い特別教室や児童いきいき放課後で使用する可能性もある体育館には空調が未整備であり、健康・安全の観点からも最優先での空調整備をお願いしたい</p>
<p>(回答)</p> <p>小学校の体育館の空調設備については、令和7年12月11日に「大阪市立小学校体育館空調設備整備事業」の事業者との契約を締結いたしました。鯉江東小学校については、令和8年度に設置予定となっております。</p> <p>家庭科室などのエアコンが未設置の特別教室については、特別教室へのエアコン設置を目的とした事業について、令和6年度中に事業者決定を進めるために入札公告を行ってまいりましたが、入札参加者が無かったため令和6年7月12日実施予定であった入札自体が中止となっております。当面の取り扱いについては、既設の空調設備更新や校舎建替え工事と同時に特別教室への空調設備設置を行うこととしておりますが、鯉江東小学校については、当面の間、空調設備の更新や校舎建替え工事は予定されておられません。</p> <p>そのため、鯉江東小学校のいきいき事業としての空調設備設置については、こども青少年局に対して、教育委員会としても技術的支援等の協力を行っています。</p> <p>こども青少年局としまして、特別教室である家庭科室をいきいき活動の場所として利用しているため、いきいき事業において空調設備の設置について教育委員会からの技術的支援も受けながら調整を進めていますが、家庭科室内の電源容量の制約により、現時点では設置には至っていません。現在、対応策を含めて、関係者とともに再検討を行っているところです。</p>	
担当	<p>こども青少年局 企画部 青少年課（放課後事業グループ）</p> <p>電話：06-6684-9573</p> <p>教育委員会事務局 総務部 施設整備課</p> <p>電話：06-6208-9055</p>

番号	3
項目	<p>登録児童数に応じた適正な利用定数・環境基準の見直し</p> <p>343 名という登録児童に対し、現状の定員・環境基準は実態に合致していないため、利用児童数に応じた適正な基準の見直しをお願いしたい</p>
<p>(回答)</p> <p>児童いきいき放課後事業は、大阪市内に居住するすべての小学生を対象に実施しており、定員を設けず、希望される児童全員にご参加いただける事業としています。</p> <p>一方で、活動室の狭隘化は重大な課題であると認識しており、事業再構築の一つとしてその対策に取り組んでいます。</p> <p>具体的には、平均参加児童数や使用する室数に応じて職員を追加配置できるよう、令和6年度より職員配置基準の見直しを実施しています。これにより、児童数が多く、複数の教室を利用する活動室においても、十分な見守り体制の確保に努めています。</p> <p>また、平均的な教室（約 64 m²）の規模で換算し、1 室あたりの平均参加児童数が 80 人を超える活動室を「特に狭隘化が深刻な活動室」と位置づけ、令和5年4月時点でその基準を超えていた鯉江東小学校を含む 27 の活動室を対象に、令和6・7年度の2年間をかけて新たな活動場所の確保を行っています。</p> <p>今後も各活動室の利用状況等を注視しながら、継続して必要な対策を講じていきます。</p>	
担当	<p>こども青少年局 企画部 青少年課（放課後事業グループ）</p> <p>電話：06-6684-9573</p>

番号	4
項目	<p>こども青少年局と教育委員会の連携強化と協議会の設置</p> <p>現在、教育委員会は「児童いきいき放課後は学校教育と無関係」との認識であるが、実態として学校施設を使用する事業であり、教育環境とも密接に関わる。よって、両局が連携して学校現場を支援する協議体の設置を求める</p>
	<p>(回答)</p> <p>児童いきいき放課後事業における各種課題については、こども青少年局と各学校がいきいきの実情にあわせて個別調整を行い、児童が安全かつ安心して過ごすことのできる環境整備に努めています。</p> <p>教育委員会においても、従前より、放課後の時間は学校運営の一貫として重要であること、また、児童にとっても重要な時間であること、その放課後に「いきいき」という学校内でのびのび過ごせる安全・安心な居場所があることは、児童にとってたいへん貴重であると認識しており、令和6年4月には教育長から各学校長宛てに活動場所の確保や学校といきいきとの連携に関する協力依頼文書を発出しています。</p> <p>今後は、両局の連携をより効果的なものとするため、定期的に課題を共有するなど緊密な連携を行う協議の場の設置に向けて調整を進めていきます。</p> <p>なお、児童いきいき放課後事業は「区・局連携事業」として位置づけられており、区役所には職員の雇用確保のため、ポスターやチラシの掲示・配架にご協力をいただいています。</p>
担当	<p>こども青少年局 企画部 青少年課（放課後事業グループ）</p> <p>電話：06-6684-9573</p> <p>教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当</p> <p>電話：06-6208-9190</p> <p>教育委員会事務局 総務部 施設整備課</p> <p>電話：06-6208-9080</p>